

# Camp 広島 2017 報告書

2017年8月20日 三富圭子

【日時】2017年8月12日(土)～8月15日(火)

【場所】広島県広島市、広島県江田島市 国立江田島青少年交流の家

【参加人数】 US アメリカ/スカウト27名、成人10名

日本：スカウト26名、成人13名、保護者2名(大人3名12日のみ参加)

広島県連盟：スカウト19名、成人8名(12日のみ参加)

【ねらい】日米のガールスカウト達が広島に集まり、平和についての学習を行い、  
交流を深め、お互いの文化を理解し友好な関係を築く。

【参加リーダー単元】 I-2 ガールスカウト運動の理念  
II-3 「人とのまじわり」のための活動  
II-5 活動の安全

【主催】USA girl scouts overseas west pacific

【協力】ガールスカウト日米交流友の会(GS-FOU)、ボランティアスタッフ(日本ガールスカウトリーダー)

## 【日程】

12日(土)	13日(日)	14日(月)	15日(火)
午前：集合 午後：被爆体験者のお話 平和プログラム 夕方：入所 夜：ウミホテル観察	午前： 年長)カッター 年少)カヌー 午後：水泳 夜：キャンプファイアー	朝：海辺の生物観察 午前：カヌー、水泳 午後：カプラ、交流 夜：キャンドルファイアー	午前：ふりかえり、退所 午後：解散

## 【概要】

在日米軍基地のスカウト(USA girl scouts overseas west pacific)たちと日本のガールスカウトが国内で交流できる機会を設け、また広島において原爆のことを学び平和について考える体験学習も行った。

1日目の広島での平和プログラムは日本のガールスカウトリーダー達が主体となって企画・計画を行い、当日は広島県連盟の方たちと協力して運営にあたった。

江田島青少年交流の家でのキャンププログラムはアメリカが主体となり、日本のリーダーたちは部門別グループの生活面やプログラム運営の支援を行った。

アメリカ側との情報共有、参加者への当日までの事前学習、英語案内に対する質問、保護者へのフォローなどの業務はガールスカウト日米交流友の会(GS-FOU)代表の朝野伸子が主に担当した。

●平和プログラム・被爆体験者（小倉桂子さんの英語でのお話し）、スカベンジャーハンティング



●カッター体験（年長スカウト）

●カヌー体験（年少スカウト）



●水泳

●キャンプファイアー



●海辺の生物観察



●カプラ、交流タイム



### 【キャンプ参加リーダーのふりかえり】

- ・参加者同士は仲良くなっていたが、名前がわからなかったようだ。  
→名札がほしかった。自己紹介タイムを設けたらよかった。
- ・前回よりも広島でのプログラム時間が確保できてよかった。
- ・部屋割り表がなかったので、全員の部屋の位置が理解しにくかった。
- ・平和プログラムはとてもよかった。
- ・小さい子たちはコミュニケーションが難しい上に、言葉の違いがあるので言葉はなくても交流を深めるプログラムを早い段階で入れてもよかったと思う。
- ・ヤングリーダーが自主的に動いて支援してくれたのが助かった。
- ・レンジャーは初日は動きが悪かったが、日を追うごとに自主的に行動してくれた。
- ・お風呂の入り方など日常生活でのアメリカのルールを知らず戸惑った。事前にわかると動きが読めたと思う。
- ・食堂の食器片付けの場所などに英語表記がなかった。
- ・初日の平和プログラムは日本主体だったので担当割りが決まっていたが、江田島ではプログラムでの担当者や責任者がわからず運営しにくかった。担当者をはっきりした方がよいと思った。
- ・初めての海のプログラムで安全面など勉強になった点が多かった。
- ・日本語と英語での説明を必ずしなければならず時間がかかった。
- ・キャンプ中のプログラムの流れが把握しにくかった。→アメリカの日程表がなかったため。
- ・健康カード、スマホ回収の時期が遅れた。もっと早く回収すべきだった。
- ・ヤングリーダーが自主的にグループ毎のインフォメーションの紙を作成し伝達してくれたのはとてもよかった。
- ・アメリカ主体のキャンプということで、部屋割りや日程表などの情報を得られないまま当日を迎えた。そのため日本スタッフが状況が把握できず、事前にわかっていたらもっと支援できたのではという場面も多かった。今後、同じ事業が開催される時には、日本スタッフ側として把握したい情報は事前にほしいとはっきりと伝えることが大切だと思う。

### 【参加保護者の感想】

#### ●兵庫県レンジャー保護者

広島キャンプ、大変お世話になりました。

とても楽しかったと喜んで、先程家へ帰って来ました！元気です！

本当に暑い中、スタッフの方々にはお世話になりました。

私も1日目のみの参加でしたが、本当に行って良かったです。

親子で他府県のリーダーやスカウト達とも知り会え、繋がりました。

本当に実りある広島だったと思います。

#### ●京都府ブラウニー保護者

広島キャンプでは娘が大変お世話になりました。

たくさんスカウトの方にいろいろ助けていただいて、充実した日々だったようです。

あんなに夜泣いていたのに、また参加したいと言っていました。

### 【最後に朝野伸子からヤングリーダーたちへ】

ガールスカウトは楽しくなくちゃ。そして、できるときにできることをやっていけばいい。だから、就活だ

から、就職だから、結婚だから、出産だからって辞めるんじゃなくて、休んでほしい。私も10年間休んできました。年間1、2回しか集会に参加せず、それもクリスマス会にケーキ食べにおいでという団委員長のお誘いに乗るというくらいで。その期間中はUKブラウニーからのお手紙やカードを日本語にして渡したり、スカウト雑誌のモニターしたり、1人でできることやってた。

みんな、細く長く続けようね。きっと子育て終わって、テンダーだった我が子と現役復活できるから。そしてまた、GS道まっしぐらもまたいいね。ヤングリーダーよ、型にはまらず羽ばたいて！

そして、日米ガールスカウト友好の灯を絶やさず、どんな形でもよいから志を引き継いでほしい。